



桜だより

伊丹市立桜台小学校
校長 日外 亮

10月24日(金)

11月9日(土)の音楽会に向けて、各学年、体育館での練習が始まっています。

校長室で仕事をしていると、隣の体育館から子どもたちの美しい歌声や迫力ある演奏が聞こえてきます。それらの音色に一度誘われると、居ても立っても居られなくなり、その都度、手を止めて体育館に足を運んでしまいます。

子どもたちは誰に言われた訳でもないのに、体全体を揺らしながらリズムを取ったり、声を遠くまで届けようと大きく口を開いたり、純粹に楽しんでいる姿が多く見られます。

そして、子どもたち一人一人の歌声や演奏が見事に組み合わせ、絶妙なハーモニーを生み出しています。

やはり、音楽には不思議な魅力がありますね！

本番が、とても楽しみです♪



10月28日(月)

今日から読書週間ということで、先生からの「読み聞かせ」が、業間休みに会議室で開催されています。校長・教頭・各学年の先生が「読み聞かせ」の担当となっています。なんと、そのトップバッターは私でした。

初日で雨だったこともあってか、会議室は満員御礼！ 学年を問わず、多くの児童が集まってくれました。

私は、「どんなかんじかなあ(文：中山千夏、絵：和田誠)」という絵本を読みました。あらすじは、主人公の「ひろくん」が、めがみえない「まりちゃん」や、みみがきこえない「さのくん」など、その人それぞれの立場に立って、「どんなかんじかなあ」と考えるというお話です。

子どもたちは、目を輝かせながら「読み聞かせ」を聞いていました。1ページめくる度に大きな反応があるのが、素直な桜っ子という感じで、とても素敵でした。

学校には、たくさんの友達がいます。子どもたちが、それぞれその友達の立場に立って、「どんなかんじかなあ」と考えることで、いろんなことに気がついてくれれば幸いです。

ぜひ、この読書週間を機に、ご家庭でもお子様と一緒に多くの本を読んでもらいたいです。御協力、どうぞよろしくお願いいたします。